

日本臓器製薬、介護事業者と提携 データ核に新サービス

2023/12/5 17:45 | 日本経済新聞 電子版



善光会は介護サービスにICT機器を積極的に取り入れている（都内の事業所）

日本臓器製薬（大阪市）は都内で介護施設を展開する社会福祉法人、善光会（東京・大田）と提携する。まず介護や医療のデータを核にした新たな介護サービス事業を立ち上げる。日本臓器の持つアジアでのネットワークを生かし、海外での介護事業の展開にもつなげる考えだ。製薬会社と介護事業者の提携は国内でも珍しい。

日本臓器製薬は鎮痛剤「ノイロトロピン」を中心とした医療医薬品を扱う中堅の製薬会社で、近年は医療機器の開発販売も手掛けている。善光会との提携で介護分野に進出し、医療から介護まで幅広いデータを活用した新たなサービスの創出に取り組む。

一方、善光会は都内に特別養護老人ホームなどを展開しており、運営する施設で歩行支援ロボットや見守りセンサーなどのICT（情報通信技術）機器を積極的に取り入れている。傘下にデジタル化技術の開発やデータ分析を手掛ける善光総合研究所（東京・港）を持ち、介護の生産性向上や効率化の研究を進めている。



日本臓器製薬は医薬品や医療機器の研究開発を進める（兵庫県内の研究所）

日本臓器製薬は中国やベトナムに工場や事業所を持っており、善光会はこうした拠点を足がかりにアジアでICTを活用した介護サービスを広げる。アジアを中心とした海外では高齢化が徐々に進んでおり、介護ニーズが急増している。日本と違い医療や介護にICTを活用することに抵抗感も少ないという。

製薬会社と介護事業所が連携することで、新たな介護・医療機器の開発やより多くのデータを収集・分析することができると判断した。最先端の技術・サービスでアジアの介護市場を先行できるとみている。

許諾番号30096712 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI Nikkei Inc. No reproduction without permission.